

「モバイル空間統計」による福岡県観光ビッグデータ調査 概要

1 調査目的

福岡県内市町村における日本人旅行者の来訪・宿泊や周遊の状況を調査し、観光振興施策の企画・立案等に活用することを目的として実施。

2 調査概要

本調査は、「モバイル空間統計」を活用。「モバイル空間統計」は、携帯電話ネットワークの仕組みを使用して作成される人口の統計情報で、1時間ごとの人口を24時間365日把握することが可能。

また、属性別の行動パターンを客観的に分析可能であるため、この仕組みを利用し、福岡県全市町村の人の動きを調査した。

3 調査期間

令和2年1月1日～令和2年12月31日

4 調査条件

対象者	国内旅行者（15歳未満は対象外） ※国内旅行者は国内契約携帯電話約8,200万台からサンプル抽出・推計を行うため、日本人のみの抽出ではない。 ※ビジネス客や帰省者なども定義に合致すれば抽出。 定義「片道80km以上の移動もしくは所要時間8時間以上、2時間以上滞在」
サンプルサイズ	国内居住者約8,200万台（2021年3月現在） ※集計処理では、国内旅行者は、住民基本台帳をもとにした拡大推計処理を属性別に実施。
対象の場所	福岡県全域及び各市町村別
対象の時間帯	全日（0-23時台） 宿泊（2-4時台） 滞在（10-17時台）
カウント方法	実人数（期間ユニーク）：同一エリアにおいて、滞在期間に関わらず1人と集計 延べ人数（日別ユニーク）：同一エリアにおいて、2日間滞在した場合に2人と集計 ※旅行者数は実人数、宿泊者は延べ人数で集計し割合に変換

5 定義

用語		定義
国内旅行者		「片道移動距離 80km 以上もしくは所要時間 8 時間以上」の移動を旅行者として抽出。 ただし、「片道移動距離 80km 以上もしくは所要時間 8 時間以上」の移動であっても、以下の移動は 抽出しない。 ・通勤、通学の移動 ・足元及び隣接市町村居住者の移動
時間区分	旅行者	時間区分に関係なく（0-23 時台）、ひとつのエリアに 2 時間以上滞在している来訪者数の実人数の総数。 ※報告書では宿泊者と記載がある場合を除き、全日で抽出された者を記載している。 ※ただし、1km メッシュについては、1 時間以上滞在
	宿泊者	夜間時間帯（2-4 時台）に、ひとつのエリアに 2 時間以上滞在している来訪者数の延べ人数の総数。

6 調査結果

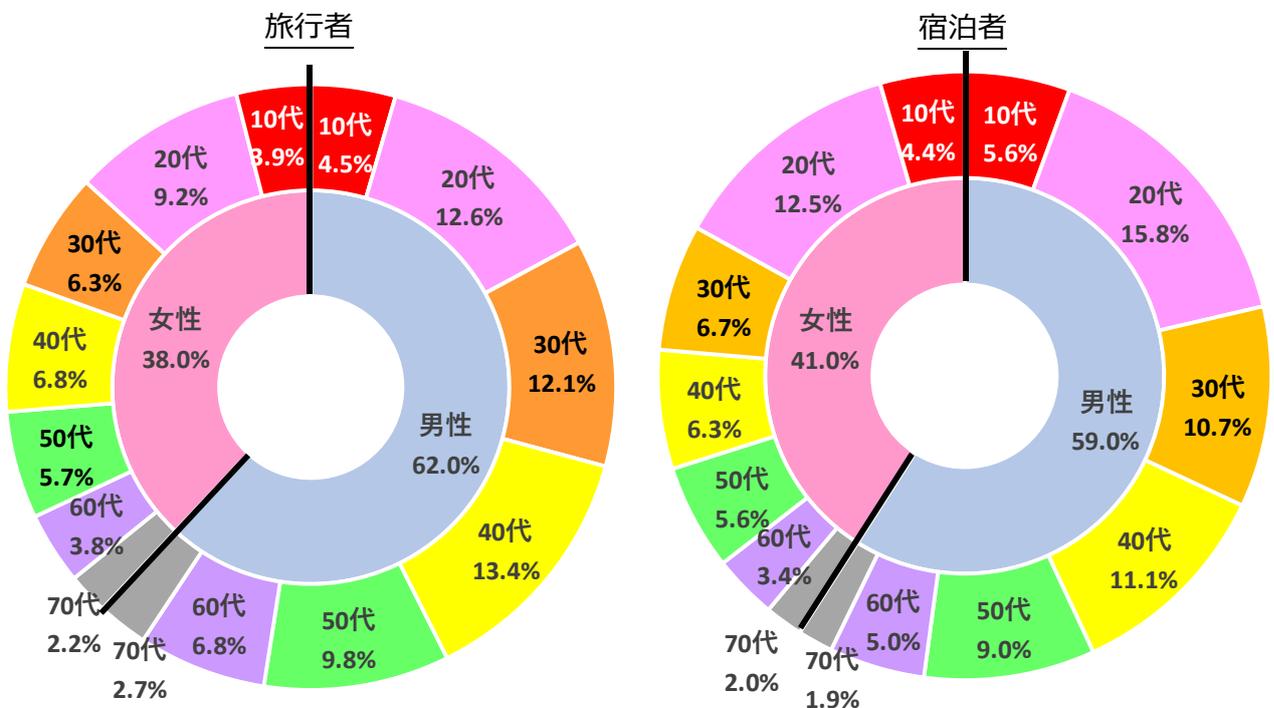
【国内旅行者の傾向】

①性・年代別

- ・旅行者、宿泊者ともに 20 代から 40 代で約 6 割を占める。
- ・性・年代別に見た場合、旅行者は 40 代男性、宿泊者は 20 代男性が最多。
- ・女性は旅行者・宿泊者ともに 20 代をピークに高齢に向けてほぼ単純減少となっている。

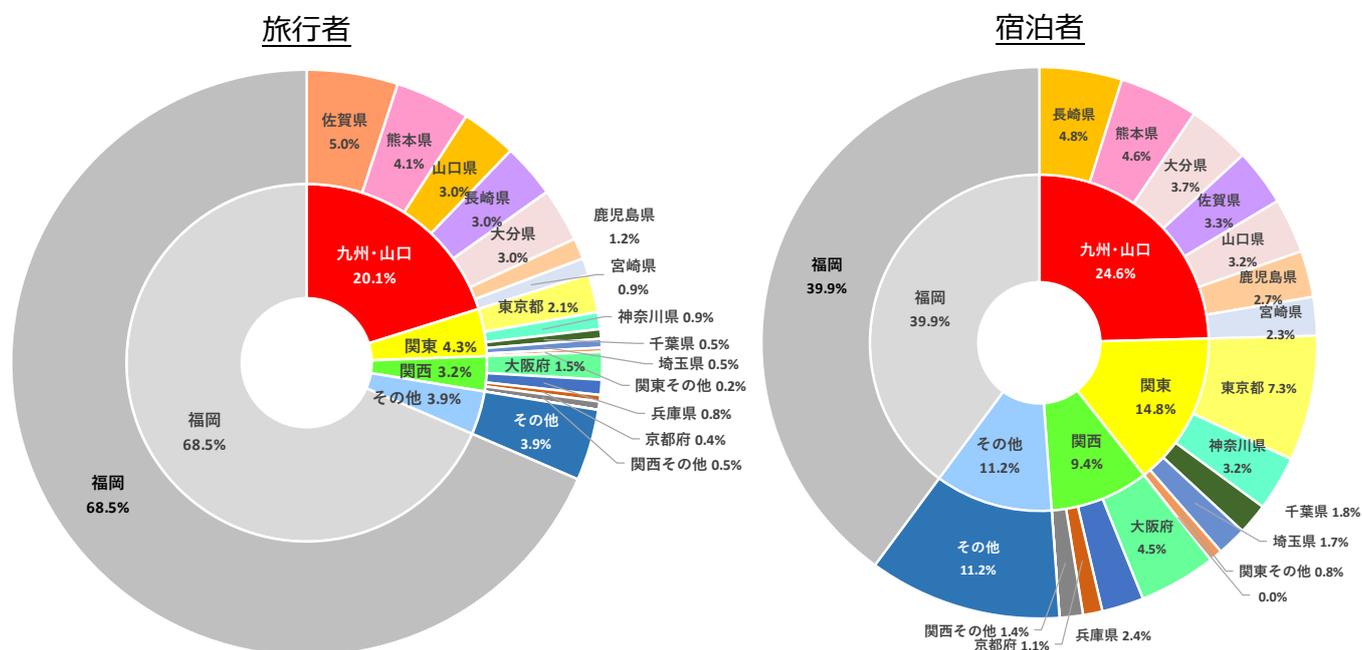
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
旅行者	8.4%	21.8%	18.4%	20.3%	15.6%	10.6%	4.9%	100.0%
宿泊者	10.0%	28.2%	17.4%	17.4%	14.6%	8.4%	3.9%	100.0%

年代別構成割合



②居住都道府県別

- ・旅行者、宿泊者ともに福岡県居住者の割合が最多で、旅行者は 68.5%、宿泊者は 39.9% を占める。
- ・九州 6 県からの旅行者は 17.1%、宿泊者は 21.4%。
- ・関東からの旅行者は 4.3%、宿泊者は 14.8%、関西からはそれぞれ 3.2%、9.4%。



③宿泊前後の滞在状況

- (※県内 4 地域における最も宿泊者の多い市(福岡市、北九州市、久留米市、飯塚市)を集計)
- ・4 市のいずれにおいても、宿泊地が滞在先上位 1 位となり、福岡市以外の 3 市の滞在先上位 2 位は福岡市となっている。
 - ・福岡市、北九州市、久留米市、飯塚市で、宿泊前後の滞在先として羽田空港のある東京都大田区が上位に入る。
 - ・福岡市は太宰府市、北九州市は山口県下関市、久留米市は佐賀県鳥栖市の割合が比較的高い。

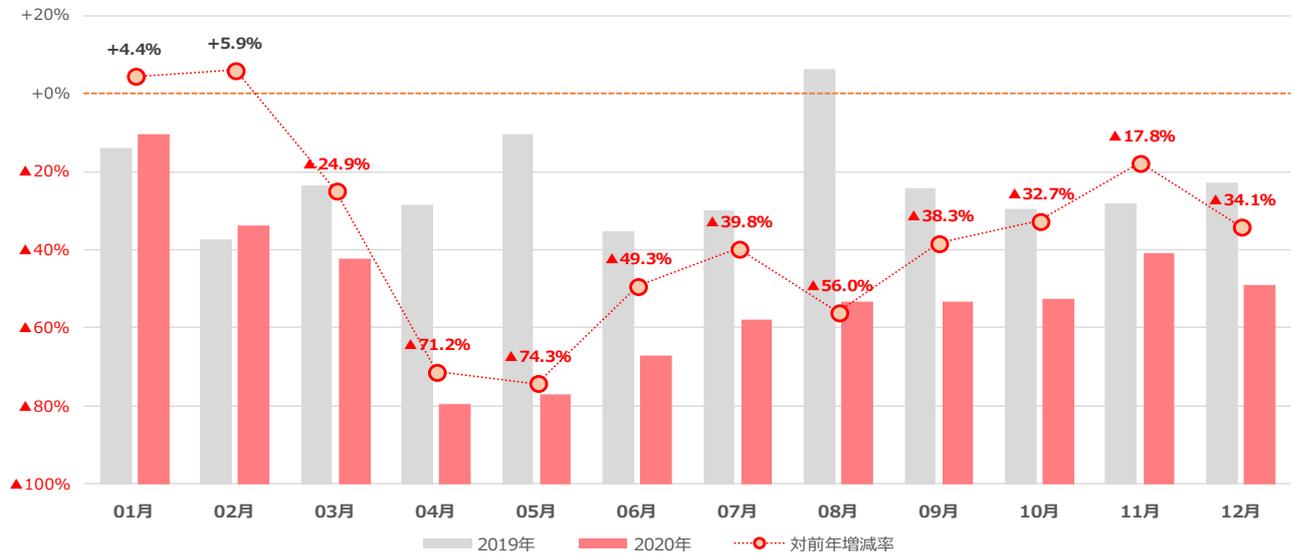
福岡県内に宿泊した国内旅行者の宿泊前後の滞在地

	滞在先上位1位	滞在先上位2位	滞在先上位3位	滞在先上位4位	滞在先上位5位
福岡市	福岡市	東京都 大田区	太宰府市	北九州市	糸島市
	51.9%	5.0%	3.6%	2.5%	1.7%
北九州市	北九州市	福岡市	山口県 下関市	東京都 大田区	大分県 別府市
	51.7%	10.9%	4.2%	2.6%	1.1%
久留米市	久留米市	福岡市	佐賀県 鳥栖市	東京都 大田区	佐賀県 佐賀市
	54.3%	8.3%	3.5%	2.2%	1.8%
飯塚市	飯塚市	福岡市	嘉麻市	北九州市	東京都 大田区
	59.5%	8.8%	2.5%	2.2%	1.9%

④新型コロナウイルス感染拡大の影響（宿泊者数の対前年比較）

- ・ 宿泊者数の月別推移の対前年比は、緊急事態宣言発出後の4・5月は70%以上の減となり、顕著に減少。
- ・ 6～10月は、40%前後の減少となり、特に夏季観光シーズンの8月は56.0%の減と大きく減少。
- ・ 11月はやや回復の兆しがみられ17.8%の減まで回復したが、12月は再び34.1%の減となった。

福岡県内に宿泊した国内旅行者の月別対前年増減率（県全体）



※調査報告書は、福岡県ホームページに掲載

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kankoubigdate2020.html>